

V72a 東海大学40cm光学望遠鏡の性能評価

白鳥裕、菊池友子、栗原一典、野田亮一、宮口愛（九州東海大工）

東海大学40cm光学望遠鏡は、東海大学宇宙情報センター（熊本県益城郡）の中に作られた施設であり九州東海大学からは車で30分くらいの比較的アクセスしやすい場所にある。また、熊本空港に隣接した施設であるために西側（空港側）は明るいがその他は熊本市郊外にあることから空が暗いという長所も有している。われわれはこのような施設を有効活用するための準備を始めている。これまでに再メッキ・光軸あわせが終了しこの望遠鏡の性能評価を開始し始めたところである。性能評価としては、追尾性能・視野角の測定・分解能等が終了している。導入精度については現在この望遠鏡がコンピュータで自動導入するシステムになっておらず、もっぱら手動（マニュアル）導入となっているために正確な測定は行っていない。追尾性能については、時間とともにずれていくことが指摘されているために最初に測定を行い、赤経・赤緯でのずれを長時間にわたって測定した。また視野角は現在使っている冷却CCDカメラ（武藤製CV-04）が視野の狭いチップを使っているために視野角自身も狭い結果を得られている。以上の特性とは別にこの望遠鏡自身の特徴としてドームに対して大きな望遠鏡を高い台座に置いているために脚立等がおけずに観測することができないいわゆる“死角”となっている領域の存在が挙げられる。このためこの死角についても身長に違いによってどのくらいになるかを測定した。このような長所も短所もある望遠鏡ではあるが、それらを踏まえてどのような今後の展望があるかについても検討を行っているため、そのことも併せて発表を行っていく予定である。